

**Pro-Gear**

# 電気油圧式薪割機

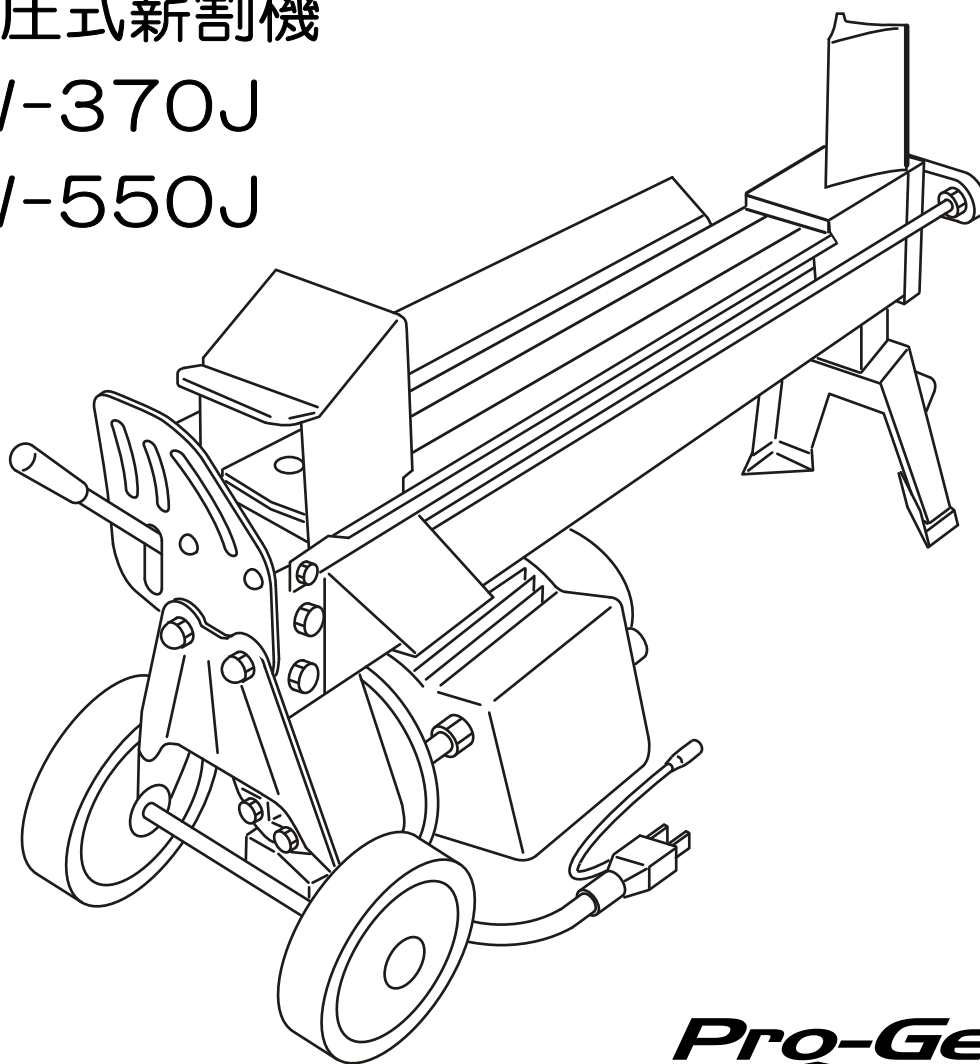
取扱説明書

プロギア

電気油圧式薪割機

KEW-370J

KEW-550J



**Pro-Gear**

— お買い上げありがとうございました。 —



警告

- この取扱説明書は、いつでも使用できる所に大切に保管してください。
- ご使用前に、まずこの取扱説明書をよく読まれ、本機の機能をご理解の上、正しく安全に使用くださるようお願い致します。

## 安全にお使いいただくために

この取扱説明書では『危険』『警告』の警告事項について、次のように定義しています。

### ⚠ 危険

・ 誤った取扱いをした時に、**重傷または死亡**につながる重大事故が発生する可能性があるとき

### ⚠ 警告

・ 誤った取扱いをした時に、**重大な傷害**を受ける事故が発生する可能性があるとき

本機のご使用前に、以下の危険、重要警告事項をよくお読みいただき、理解し必ず守って下さい。

### ⚠ 危険

**重大事故が発生する場合がありますので、絶対にやめて下さい。**

1. 電源プラグをコンセントに差し込んでいる間は、薪を置く時以外、絶対に薪割プレート上に身体を近づけないで下さい。手・足等身体を切断もしくは、挟み込んで重大な人身事故をまねきます。

### ⚠ 警告

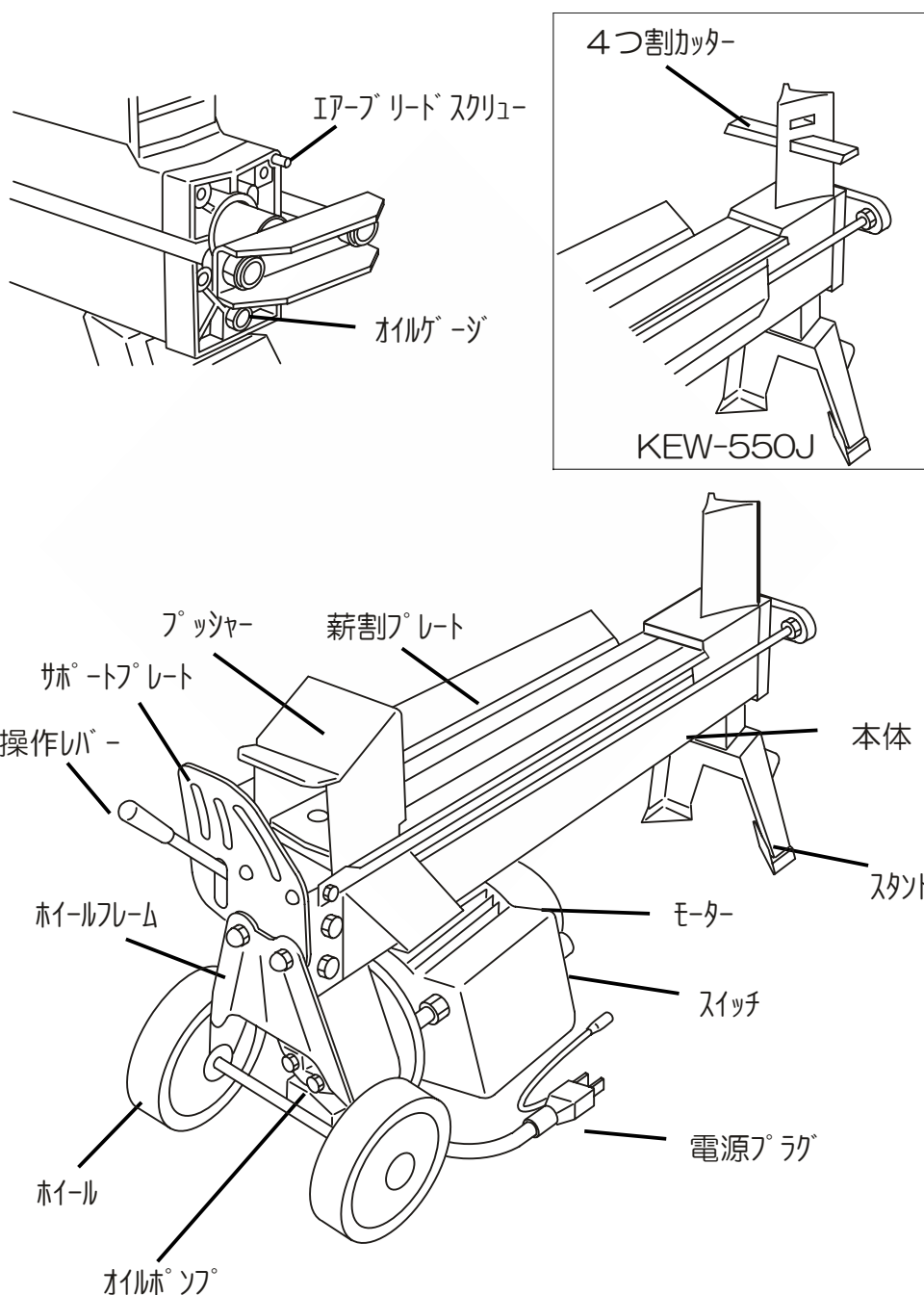
**人が重大なケガを負う場合がありますので、必ず守って下さい。  
禁止事項は絶対にやめて下さい。**

1. 薪割作業以外には使用しないで下さい。薪割機に、お子様や物品を乗せないで下さい。
2. 未成年の方や本機の操作を十分理解されていない方のご使用はおやめ下さい。
3. 電源プラグの抜き差しの前に、本機のスイッチが切れている事を確認して下さい。
4. 電源コードのアースクリップを必ずアース（接地）して下さい。
3. 延長コードは、電線の太さが2mm<sup>2</sup>以上のコードをご使用下さい。
5. 感電の恐れがありますので、下記のような使用はしないで下さい。
  - ・ 雨中での作業はしないで下さい。
  - ・ 雨の中に放置したり、本機を水洗いしないで下さい。
  - ・ 濡れた手でスイッチ、電源プラグに触れないで下さい。
  - ・ 電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いて下さい。
  - ・ 破損した電源コードや電源プラグのまま本機を使用しないで下さい。
  - ・ 交流100V以外では使用しないで下さい。
6. 次の作業は、本機のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
  - ・ 組立るとき。
  - ・ 使用中本機に異常を感じたとき。  
直ちに使用を中止し、スイッチを切り、電源プラグを抜いた後、本機の異常を確認し修理して下さい。
  - ・ 点検・修理又は、部品交換やオイル交換を行うとき。
  - ・ 本機を移動するとき。
  - ・ 使用しない時。保管するとき。
7. 本機を使用する時は、平らな安定した場所で行ってください。
8. 本機作動中はサポートプレート側で作業して下さい。
9. 可燃性の液体やガスのあるところで使用しないで下さい。
10. ご使用前に電源コードや本機の部品が損傷していないか点検して下さい。
11. ご使用前に本機の調整箇所及び、組立方法を確認してください。
  - ・ 各部のネジに緩みがないか、各部品に損傷がないか、正常に作動するか充分点検して下さい。
  - ・ 本機の組立を適切に行ってください。  
異常があった場合は、直ちに使用を中止し、適切な調整・修理を行ってください。
12. 使用中は、他の人や動物を近づけないようにして下さい。
13. 本機の操作方法をご存じない方又は、理解できない方には操作させないで下さい。
14. 操作時は常に安全に注意し、作業に適した服装をして下さい。
  - ・ だぶついた服はさけ、作業に適した服装に目を保護するゴーグルを着用して下さい。
15. 傾斜面等、不安定な場所に、本機を放置しないで下さい。転倒しけがの恐れがあります。
16. 使用後は必ずお手入れをして、湿気の少ない所に保管して下さい。
  - ・ 保管は湿気の高い所、雨のかかる所、直射日光の当たるところはおさけ下さい。
17. 使用後は、お子様の手が届かない、鍵のかかる所に保管して下さい。
18. 本機の修理は必ずお買い求めの販売店へお申し付け下さい。
  - ・ 本機に異常を感じた時は、ただちに作業を中止して下さい。
  - ・ 当社指定のサービスマン以外、取扱説明書の説明以外の分解修理及び改造は行わないで下さい。
19. プロ ギア 純正の部品、付属品を使用して下さい。本機指定の純正部品以外、使用しないで下さい。

◆ 仕様・名称

型 式	KEW-370J	KEW-550J
電 源	AC100V 50/60Hz	
定格消費電力	1,500W	
定 格 時 間	30分	
オイル容量	約2.6リットル	約3.4リットル
使用オイル	耐摩耗性油圧作動油#32 (ISO VG32)	
最大破砕力	約4トン	
破砕最大能力	直径φ250×長さ370mm	直径φ250×長さ550mm (4つ割時 直径200mm以下)
4つカッター	—	標準装備
薪割用ペダル	別売 (KEW-FP)	標準装備
コードサイズ	電線 2.0mm <sup>2</sup> × 約180cm	
本体サイズ	L805×W275×H460mm	L985×W275×H460mm
本体重量	約41Kg	約46kg

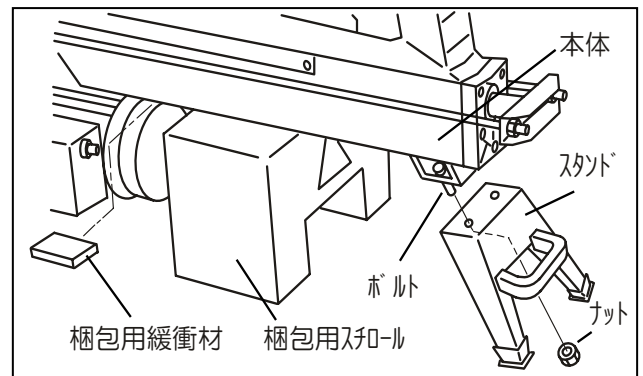
※本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。



## ◆本体組立

### 1. スタンドの組立

- ・取り出した本体を梱包用スチールの上に置いて、安定させた状態にしてください。
- ・スタンドをボルト・ナットで本体に確実に固定してください。
- ・梱包用緩衝材は使用前にモーターと本体の間より取外してください。



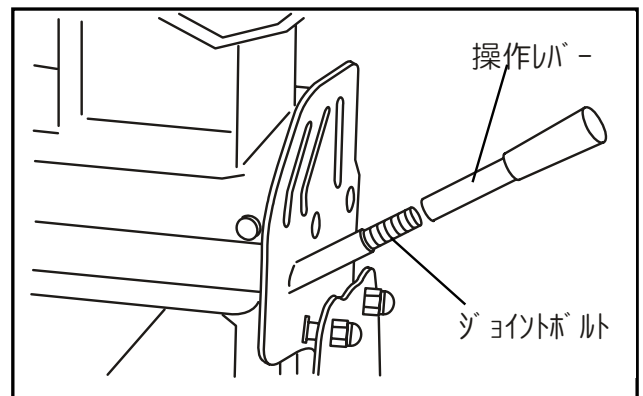
### 2. 操作部の組立

#### 1) 手押し作業用操作レバー

- ・ジョイントボルトに操作レバーをねじ込んで下さい。

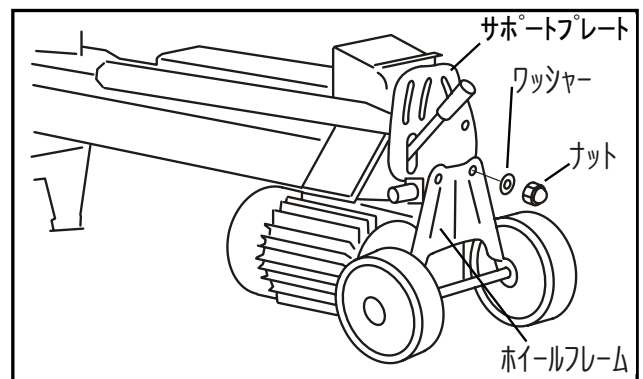
#### 2) 薪割り作業用ペダル(別売)

- ・ペダルの取扱説明書をご覧ください。  
(KEW-550J は標準装備)



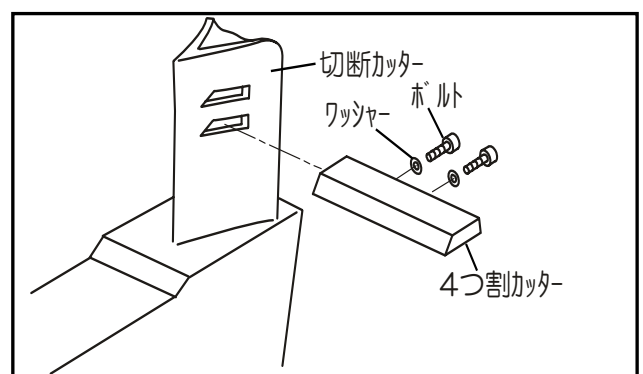
### 3. ホイールフレームの組立

- ・サポートプレート下方にワッシャー・ナットでホイールフレームを確実に固定して下さい。



### 4. 4つ割カッター組立(KEW-550Jのみ)

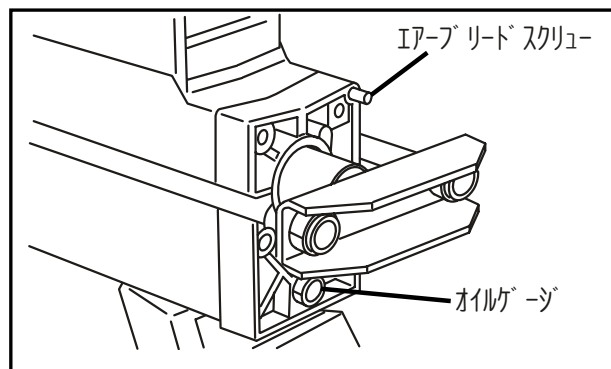
- ・切断カッターの穴部に4つ割カッターを通して、ボルト・ワッシャーで切断カッターから外れないように取り付けてください。



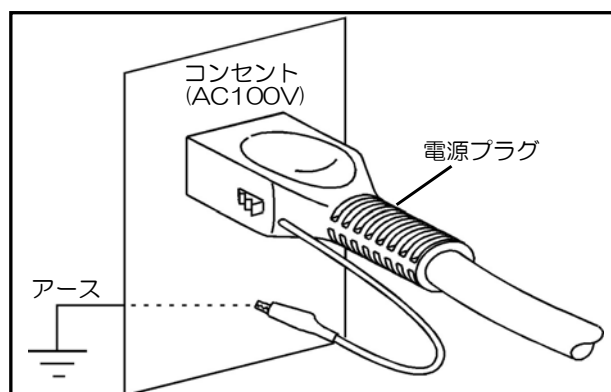
## ◆作業方法

### 1. 準備

- ・各部に緩みなどがないことを確認して下さい。
- ・使用中には必ず、エアブリードスクリューを2～3回転緩めて、本体内の空気を排出して下さい。使用後はエアブリードスクリューをしっかりと締めて下さい。
- ・オイルが規定量は入っているかオイルゲージで確認して下さい。  
「オイルの点検・交換」の項を参照して下さい。
- ・本体の移動・収納時はエアブリードスクリューを締めて下さい。
- ・本体が水平に保てる場所であることを確認して下さい。ピストンラム側が下がっている場合は、機能を十分発揮しない場合があります。

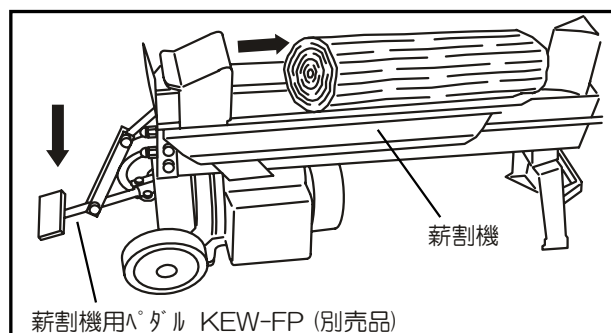
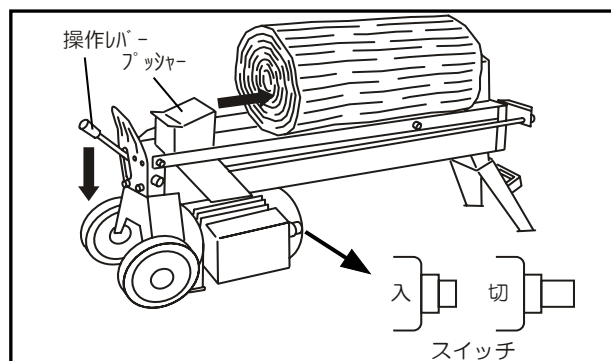


- ・電源プラグをコンセント(100V)に差し込んで下さい。もし、コードを延長される場合は、屋外用の125V・15A・2mm<sup>2</sup>(3芯アース付)以上の規格で10m以下の延長コードを使用して下さい。



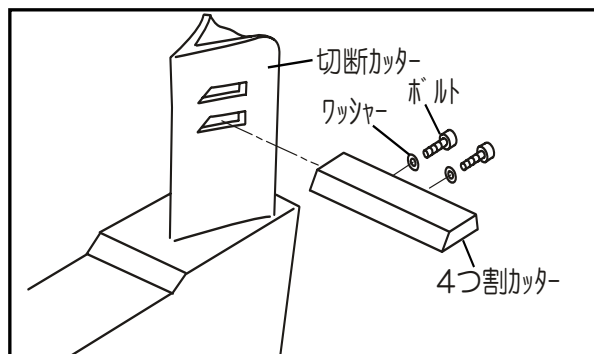
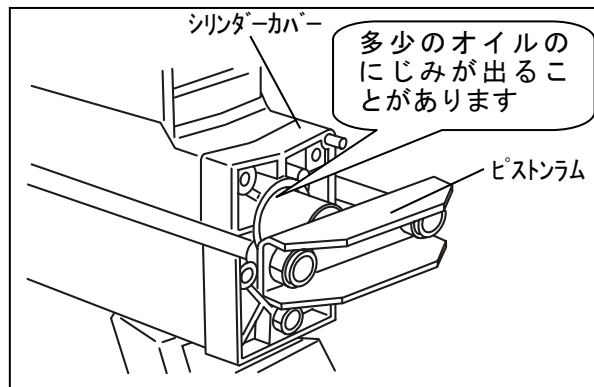
### 2. 作業

- ・スイッチのボタンを押して、モーターを作動させます。
- ・薪を本体の薪割プレートに置いて下さい。  
(切断カッターにあて、縦方向に割れるように薪を置いて下さい。横方向に置いたり、細く曲がっている場合、薪が飛散する恐れがあり危険です。)
- ・操作レバーを下げてください。プッシャーが切断カッターの方に前進します。  
薪割り作業用ペダルを使用される場合は、「書割機用ペダル」の取扱説明書を参照して下さい。  
薪を割った後に、レバーを放すとプッシャーが戻ります。(後進は、自動で動きます。)  
※数秒間経ってもうまく割れないときは、薪の置き方を逆にして作業して下さい。  
※薪の木質・硬度によっては、割れにくい場合もあります。  
※薪割作業中にモーターに能力以上の負荷が加わると薪を割ることが出来ずにプッシャーが自動的に戻る事があります。この場合は続けて作業せず、一度スイッチを「切」にして、モーターを停止してから、再度スイッチを「入」にして作業を再開して下さい。



※シリンダーカバーのピストンラム摺動部などよりオイルが多少にじみ出る場合がありますが、機能的には問題はありません。にじみ出る場合は拭き取って下さい。

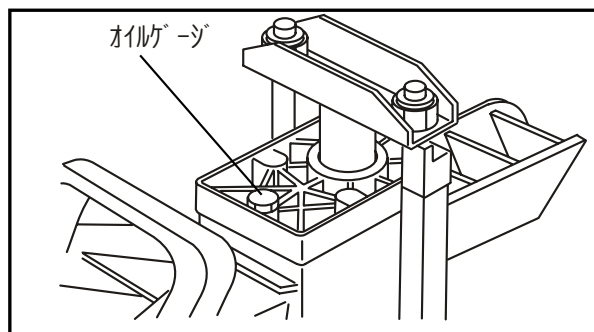
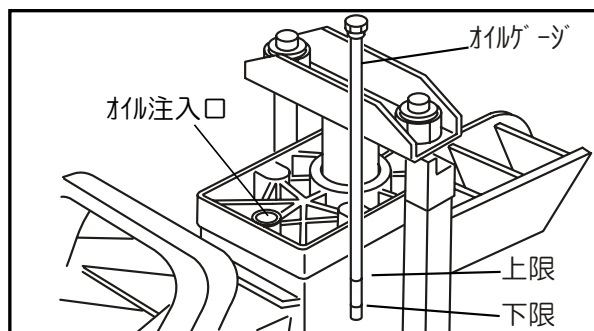
- 薪を4つに割る場合は、4つ割カッターを使用して下さい。
- 薪の太さに応じて、薪のほぼ中心になるように4つ割カッターの取り付け位置を換えて下さい。
- 4つ割カッターの左右に薪の負荷がほぼ均等にかかるようにして下さい。



## ◆オイルの点検・交換

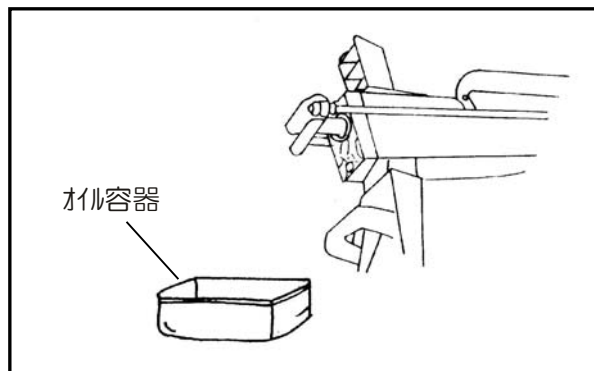
### 1. 点検

- 電源プラグをコンセント抜いて下さい。
- プッシャーがモーター側に戻っていることを確認して下さい。
- 本体を垂直に立てた状態でオイルゲージを抜き、ゲージ部分に付着したオイルをふき取ります。本体を立てる場合、操作レバーを曲げないように注意して下さい。
- オイルゲージを本体に根元まで差込み、再度抜きます。
- 上限・下限の範囲内にあることを確認して下さい。
- 少ない場合は、オイル注入口の穴より注入して下さい。
- オイルを注入された際には、一旦オイルゲージを締めて、本体を元の姿勢(作業状態)にして、各部にオイルがいきわたってから、再度本体を立ててオイルゲージで上限・下限の範囲にあることを確認して下さい。
- 点検後はオイルゲージとパッキンの汚れを落とし、本体にしっかりと締め付けて下さい。



### 2. 交換

- 本体を垂直に立てて、オイルゲージを抜き、本体をオイルゲージ側に傾けオイルを抜きます。オイルは容器に受けて下さい。
- 古いオイルを完全抜き取った後、オイル注入口より新しいオイルを入れて下さい。
- オイルは耐摩耗性油圧作動油#32 (ISO VG32) を使用して下さい。
- 交換後のオイルは法令に従い、適正に処理して下さい。





---

製品に関するご質問、  
お問い合わせは…

**金星園芸工業株式会社**

〒675-1334  
兵庫県小野市大島町743  
TEL 0794-62-2185  
FAX 0794-62-2187